

空飛ぶ救命救急センター ドクターヘリ離着陸場の増設を

公明党 高野典子 議員

ドクターヘリ離着陸場 増設の検討について

問 空飛ぶ救命救急センターと言われるドクターヘリは、心臓発作や脳卒中、交通事故等一刻を争う場合、地上の3分の1から5分の1の時間で現場に到着できると言われている。本市には、離着陸場が第一運動公園野球場の1か所で横須賀市は3か所、鎌倉市は5か所増え6か所になったようだが、本市も増設すべきと思うが、見解を伺いたい。

消防長 ドクターヘリが到着するまでには、野球場内の散水作業、利用者がいた場合の避難誘導、近隣住民への広報が必要となり、それら条件がクリアできるかも含め、今後検討したいと考えている。また、市内3か所については、防災ヘリの基準を満たしていると思うが、大規模災害時等の特殊な場合を除き、離着陸は行っていない。

学校基本調査における 不登校への対応について

問 文部科学省は、毎年学校基本調査を実施し、不登校の項目もあり、要因の調査を行う

ている。教育委員会は、諸要因について個別具体的に把握していると思われるが、どのような対応を行っているのか伺いたい。

教育長 近年の特徴として友達関係が一度崩れると自分では修復できず欠席につながるケースや家庭での生活環境の変化が起因しているケース等が挙げられるが、担任を中心に子供の様子を十分把握するとともに、スクールカウンセラーと連絡を密にし、不安を取り除くための相談等対応を図っている。中学生は、複合的で何か一つに起因するとは考えにくいケースが多く、学業面に不安のある生徒に対しては補習、個別指導等を実施している。

防犯行政における

市の取り組みを強化せよ!

問 県は、犯罪のない安全・

安心まちづくり推進条例の中で、各自治体は積極的に取り組んでいる。12月の機構改革提案に向けて、防犯行政の窓口等の一元化をすべきと考えるが、見解を伺いたい。

市長 交通安全部門、防犯の部門と防災の安全・安心という中でテーマとしてあるが、より強化できる体制を目指して、機構改革案の中に盛り込んでいきたい。

介護保険料の算出に

平準化方式を取り入れよ!

問 暫定保険料と確定保険料との差があり過ぎる、との声を聞くが、保険料算出の平準化について伺いたい。

理事兼福祉部長 来年度に向けて、平準化の方向で検討を進めている。

※この他に、財政問題、ごみ問題、JR東逗子駅北口設置についての質問がありました。

平成20年第3回定例会(9/3~25)